

聖澤諒旗争奪第5回フォアードリームズカップ 大会ルール要領

(1) 競技場

ア 投手板と本塁の距離は、学年にかかわらず16m、塁間の距離は23mとする。

イ 投手板、各ベースは公認野球規則に定められたものを使用する。

※ホームベースは、一般用とする。

ウ 各グラウンドのローカルルールに従うこととする。

(2) 用具

ア 試合球は全日本軟式野球連盟公認少年用C号ボールを使用する。

イ バットは少年野球用公認バットとする。(JSBBが入っていれば高反発系のものも可)

ウ 事故防止のため打者は打撃用ヘルメット、捕手はヘルメット・プロテクター・レガースを着用する。ランナーコーチもヘルメットを着用することとする。

エ スパイクについては、靴底が金属製のものは禁止する。

(3) 服装

ア 監督・コーチ・選手のユニホーム等は、所属リーグ・連盟・協会の規定に準ずる。

選手は、背番号を必ずつけることとし、背番号の無い選手は試合に出場できない。

(4) 試合

ア 試合規則については、公認野球規則を適用する。

イ 試合は5回までとし、60分経過後は次の回に入らない。決勝戦は、5回もしくは、1時間30分とし、1時間25分を経過したときは、次のイニングに入らない。

※同点の場合は延長戦を行わず、下記の方法により勝敗を決する

①一日目：最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。

②二日目：2イニングの特別ルールをもって勝敗を決する

1アウト走者2・3塁を設定し再開(打順は前回から継続、走者は前回最後のバッターを2塁、その前を3塁に置く。)

(例：9番打者で前回が終了した場合、8番(3塁)・9番(2塁)を走者とし、1番打者から始める。)

上記特別ルールを2イニング行っても勝敗が決しない場合は、監督同士によるジャンケンで勝敗を決するものとする。

ウ 先発投手については、前の試合2回終了後、指定された場所での投球練習を認める

こととする。

- エ 投手は故障防止のため「同一投手の1日の投球回数を7イニング以内」に制限します
1日に2試合以上ある場合の制限例: 1試合目に4回3分の1を投げた投手は2試合目は2回以内とする。
- オ ホームランライン、又はテークツーベースラインについては、各グラウンドのルールに従うものとする。
- カ 投手のボークについては、当該投手につき、1回目は監督に注意するものとし、2回目にはボークを宣告するものとする。
- キ ただし、1回目のボークによるプレイで攻撃側に不利益となった場合には、ノーカウントとし、プレイを再開するものとしますが、ボークにもかかわらず安打・失策・四死球その他で打者走者又は走者が塁を進んだときにはプレイはボークとは関係なく続けるものとします。
- ク ファールボールは、攻守に関係なくベンチが責任をもって拾う
- ケ 試合中の抗議は監督のみが行える
- コ ベースコーチは団員であること
- サ ストライク・ボール・アウト・セーフの判定に関する抗議は認めない。

(5) 審判員について

- ア 審判員について、一日目は各チーム2名ずつ、二日目は1名OR2名を派遣する。
二日目の派遣数は、両チーム及び事務局協議の上決定するものとする。
- イ 審判用インジケーター及び帽子は、各自で用意して下さい。
- ウ 審判員・選手等に対する好ましくない野次(特に個人攻撃)を厳禁とし、犯した場合は審判員が注意を与え聞かない時は退場させる。

(6) 大会運営について

- ア ベンチは番号の若いほうが一塁側とする。
- イ ベンチ内は監督1名・コーチ2名以内・スコアラー1名・選手のみとする
- ウ 試合を行うチームは、試合開始予定時間の30分前には試合会場に集合して下さい。(審判員の方も同様をお願いいたします。)
 - ・試合開始時間になっても会場に来ないチームは棄権と見なします。
 - ・交通事情等でやむを得ず遅れる場合は、必ず会場代表者(もしくは事務局)に連絡すること。
- エ グラウンドで起こった負傷などについては、主催側は応急処置をするほかは一切責任を持たない。
- オ 試合日程・時間の変更は、雨天及び地域・学校行事の他は認めない。
 - ・事前に地域・学校行事については確認していただき、早い目に大会事務局の方へご

連絡下さい。

- カ 小学校使用の際は、全て禁煙となっておりますので校門の外にて、喫煙をお願いいたします。（携帯用灰皿などをご用意下さい）
- キ 第1試合のメンバー表交換は開会式終了後試合会場に到着次第、速やかに行ってください。
- ク 第2試合以降のメンバー表交換は、前の試合の2回裏終了時にバックネット裏にて行います。
- ケ メンバー表は3部 提出してください。尚、1部は自チーム用として返却します。
- コ 試合開始後、雨天等で試合中止の決定を止むを得ず下した場合は、3回終了の時点での試合結果をもって成立、不成立を決める事とする
- サ 各グラウンドルールについては、担当責任者より試合開始前に説明を受け、それぞれのルールに従うものとする。